

使用教科書：光村図書

使用副教材：美術資料・東京の美術（秀学社）

教科の学習目標：
 ・対象を捉える造形的な視点の理解と意図に応じて創造的に表すことができる。
 ・自然の造形や作品の良さ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し発想したり、見方や感じ方を深める。
 ・主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像する態度や美術文化を鑑賞する態度を養う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	凹版画：線点の積み重ねで表現「心の中」【ICT】 ボールペンで描く グラデーション・直方体・円柱・リンゴ・葉・球 版画の種類と効果 タブレットを発想の手立てに下絵制作 ニードル描画・紙やすりによる点描 美術史「バロック・ロココ」 作家鑑賞「フェルメール」 ポスターについて	<ul style="list-style-type: none"> 線点の積み重ねの表現を黒ボールペンで練習する。(グラデーション・直方体・円柱・リンゴ・葉・球) 版画4種(凸版・凹版・平版・孔版)の特徴を学ぶ。 シュルレアリスムの手法で現実とは違う不思議さを考えタブレットを発想の手立てに活用し、「心の中」を主題に構想を練る。 エッチングプレートにニードル描画・点描 バロック・ロココの特徴と作家について学ぶ 「フェルメール」映像を鑑賞し、ワークシートに答える。 ポスターの視覚的効果について考え、制作手順を学び構想を練る。 <夏休みの宿題へ>
2	凹版画<続き> ニードル描画・紙やすりによる点描 エッチング技法で製版 インクをのせ、拭き取り、プレス機で刷る 色画用紙などに刷りコラージュ作品制作 美術史「近代Ⅰ」 篆刻：篆書体で氏名をデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> ニードル描画・点描を終える。 腐食液にエッチングプレートをつけ製版する。 インクをのせ、余分なインクを拭き取り、プレス機で濡らした版画紙に刷る。 色画用紙などに刷り、切り貼りして発展的なコラージュ作品を制作する。(市展候補作品) 近代(新古典主義・ロマン主義・写実主義・バルビゾン派)の特徴と作家を学ぶ。 篆書体で氏名をバランスよくデザインする。
3	篆刻<続き> 印面磨き・印面をニードルや印刀で削る。 持ち手をデザインし削り、磨く 美術史「印象派」 作家鑑賞「ターナー」	<ul style="list-style-type: none"> 高麗石の印面の傷を磨く。 印面に氏名デザインを写し、ニードルや印刀で削る。(陽刻) 持ち手をデザインし三面図にし、高麗石を削り、磨く。 印象派の特徴と作家を学び、ジャポニズム(浮世絵)が作品に与えた影響を考える。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動を評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩などが感情にもたらす効果を理解している。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 制作の手順を考え見直しをもって表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 作品(ボールペン描画・凹版画・コラージュ・篆刻印面・持ち手) 定期テスト
観点2 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 対象を見つめ感じ取った美しさや想像したことを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係を考え、構成を工夫し、表現する構想を練っている。 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容から主題を生み出し、調和のとれた美しさを考え構想を練っている。 よさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と工夫を考え、見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 作品(ボールペン描画・凹版画・コラージュ・篆刻印面・持ち手) 定期テスト
観点3 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現活動に取り組もうとしている。 目的や機能考えた表現活動に取り組もうとしている。 作品や美術文化などの鑑賞活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの取り組み 作品への取り組み 授業の様子